



地域版スーパーアプリ「ふくアプリ」 ふくいのデジタル社の地域DX取り組みご紹介

2024年3月12日

株式会社ふくいのデジタル
代表取締役社長 小林拓未



自己紹介

株式会社福井銀行 営業企画チーム 上席推進役
株式会社ふくいのデジタル 代表取締役社長
福井工業大学客員教授



小林 拓未

Takumi Kobayashi

1985年生まれ(38歳)、福井市出身。

血液型A型 かに座

妻、娘2人、息子1人の5人家族

2009年に福井銀行入行。

本店営業部、経営企画チーム、ブランド戦略チームなどを経て2021年

12月から営業企画チーム新規事業、グループ会社担当。

2022年9月にグループ会社「ふくいのデジタル」設立し、代表取締役に
就任。

ふくいのデジタル社について

ふくいのデジタル会社概要

会社名	株式会社ふくいのデジタル
所在地	福井県福井市順化1丁目1番1号 (福井銀行本店内)
資本金	1億円
株主構成	福井銀行(50%) 福井新聞社(50%)
設立	2022年9月5日
事業内容	(1) スマートフォンアプリケーションソフトの企画、管理、運営 (2) 行政等からの受託事業 (3) 広告代理業および 各種の宣伝に関する業務 (4) マーケティング・リサーチ並びに経営情報の調査、収集及び提供 (5) 地域通貨の発行・運用・管理 (6) コンサルティング業務 (7) 情報発信事業、その他地域の発展に寄与する事業 (8) 前各号に附帯または関連する一切の業務

デジタルの力を通して地域のウェルビーイングを高めていくために
福井銀行と福井新聞社の共同出資で設立された事業会社です



- 株式会社福井銀行と株式会社福井新聞社は2022年9月5日、**地域のデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進**を目的に、株式会社ふくいのデジタルを共同で設立。
- 新会社は10月から、地域ニュース、防災情報等を提供するスマートフォンアプリ「ふくアプリ」の提供を開始。ふくアプリは、デジタル決済(地域通貨、プレミアム付き商品券等)、デジタルクーポン、デジタルポイント、デジタルスタンプラリーのシステムを包括的に有しており、**各団体、自治体、企業等と連携しながら段階的にサービスを提供する計画**。
- 国も、**地方を活性化し世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」**を打ち出し、新型コロナウイルス禍によりデジタルの実装が地方でも重要度を増す中、ふくアプリ事業を展開し、より強力に地域DXを推進するため、共同出資による新会社を設立することで合意。
- 新会社は、スピード感を持った意思決定と事業推進に対応できる体制とするため、代表取締役社長に福井銀行から30歳代職員を起用。福井新聞社もインターネットを活用した情報発信やデジタルマーケティングに長じた現場社員を役員に登用。今年3月から県内全17市町と、DXに向けたワーキンググループを立ち上げた福井銀行グループと福井新聞社も、新会社と緊密に連携しながら事業を展開。
- また、新会社はDXを活用した地域共創に取り組む大手企業とも積極的に連携。**福井県をDX先進フィールドとしてさまざまな事業にチャレンジする**。

「ふくいのデジタル」のPMVV

PURPOSE

デジタルトランスフォーメーションを通して、
福井に暮らす人、福井を訪れた人の
ウェルビーイングを高めていく

MISSION

ふくいモデルのデジタル社会を実現するため
さまざまなステークホルダーと協働
『福井の未来をみんなでつくる』

VISION

生活者視点で
新たな体験価値を提供することによって
サステナブルな社会を創り上げていく

VALUE

福井銀行と福井新聞社、地域のみんで
あらゆる生活シーンをスマートライフ化する
ふくいモデルのデジタルプラットフォームを構築する



ふくいのデジタルのチャレンジ

ふくアプリの目指す社会

「ふくアプリ」は生活のあらゆるシーンをスマートライフ化していきます



ふくアプリのコンセプト

『ふくアプリ』は、デジタルプラットフォームとして
みんなで育てていきます



地域のDXを進めていくには、行政だけではなく「toB」「toC」「toG」の三方向で
地域に根差した活動を続ける企業がハブになることが重要

ふくアプリ活用イメージ

デジタルの力で、社会課題の解決と地域の魅力の向上を図る

域内経済を活性化

健康ポイント

- 健康に関する取り組み
- 町民の皆さまの行動変容

移住・定住ありがとうポイント

観光デジタルポイント

地産地消応援ポイント

サステナブルポイント

毎日お得に決済

- 経常的に0%プレミアム、ポイントバック

観光スタンプラリー

- 域外との交流促進
- 観光プロモーション

子育て給付

- 出産子育て世帯

ボランティアポイント

- ボランティア参加者への給付
- 地域行事への参加(共助)

MaaSサービス

地域クーポン

Iターンようこそポイント

Uターンおかえりポイント

プレミアム商品券

- 0%のプレミアム

ふるさと納税

- 地域ポイント返礼による着地型ふるさと納税
- 交流人口の拡大

地域コミュニティ活性化

行政事務の高度化

行動変容促進

持続可能な地域
社会の実現



ふくアプリ機能の紹介

2023年11月のバージョンアップ時 機能概要

決済関連機能

- 地域共通電子マネー
- プレミアム商品券
- 地域共通ポイント
- デジタルクーポン

情報配信機能

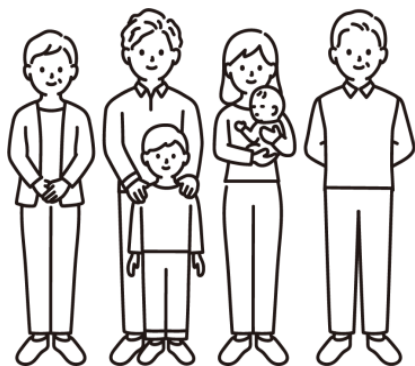
- 福井新聞ニュース
- 防災・減災コンテンツ
- お知らせ通知・バナー

MaaS関連機能 (2024/3)

- 企画乗車券
- 経路検索 など

その他

- デジタルスタンプラリー



事業実績

2022年9月の設立以降実施してきた事業（抜粋）

事業内容	概要	補足
RENEWPay	<ul style="list-style-type: none">地域の観光イベントにおけるデジタル地域通貨導入事業決済データのオープンデータ化実証事業	観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」に採択
ふくいdeお得キャンペーン	<ul style="list-style-type: none">全国旅行支援事業の福井県版電子クーポン（電子マネー）事業	福井県・福井県観光連盟からの受託事業
デジタルたけポン	<ul style="list-style-type: none">地域企業応援デジタルクーポン事業	地元商工会議所からの受託事業

地域の課題を深掘りして、DXを通して解決を図っていく
地域の「お金」や「情報」の流れを熟知しているプレイヤーが
課題設定+対策提示+実行を一気通貫で実施



福井県デジタル地域通貨 ふくいはぴコイン

ふくいはぴコイン事業の概要

福井県「デジタル地域通貨」事業=ふくいはぴコイン 県市町が利用可能なデジタル決済プラットフォーム

デジタル地域通貨は自治体やコミュニティ内でのみ利用可能な決済手段の一つであり、使用店舗や使用期限の設定が可能なほか、柔軟なポイントの付与が可能。(1ポイント=1円として使用可能)
福井県では、令和5年11月よりふくいのデジタルが運営するスマートフォンアプリ「ふくアプリ」を利用して、県や市町がデジタル地域通貨やデジタルポイント事業を行える基盤を整備。
(例:プレミアム付地域商品券、子育て支援事業、ボランティア活動参加者へのデジタルポイント付与など、事業別にデジタル地域通貨やポイントを備えた「お財布」を作ることが可能)

<名称>

ふくい はぴコイン

幸福度日本一(ハッピー)+地域通貨の「コイン」

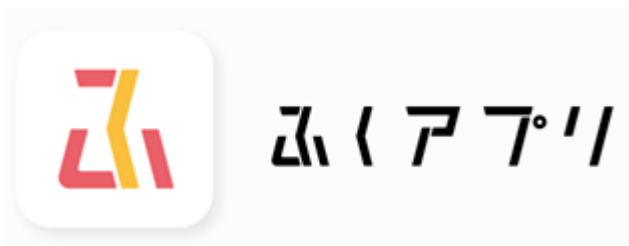


ふくいはぴコイン

2023年11月に「ふくアプリ」を大幅バージョンアップ

ふくいはぴコイン開始

2024/3/1時点



ユーザー数 (2023/11/1以降)	約150,000人
加盟店数	約4,100店
決済金額	約7億円
決済回数	約30万回

ふくいはぴコイン事業紹介



福井県全域でのプレミアム付き商品券事業、令和5年度は抽選機能を活用し一人2口上限で購入可能
域内経済循環・物価高騰対策・地域経済活性化



国の出産・子育て応援交付金による経済的支援事業（妊娠時に5.25万円、出産時に5.25万円を給付）
市町により実施市町内限定または県内全域でマネー・ポイントが利用可能、利用可能店舗は「ふく育応援団」に加盟の店舗
行政事務の高度化・給付目的に沿った利用促進



子育て世帯経済的支援事業（こども（胎児を含む）一人につき、1,500ポイントを支給）
利用可能店舗は「ふく育応援団」に加盟の店舗
行政事務の高度化・給付目的に沿った利用促進

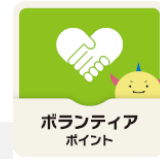


ウォーキングの歩数を健康管理アプリで計測し、健康ポイントとしてふくアプリで付与
令和5年度は池田町で実証 **住民の行動変容促進**



ボランティアイベントにて参加者にボランティアポイントとして付与
令和5年度はあわら市で実証 **コミュニティ活性化・住民の行動変容促進**

ボランティアポイント



概要	<ul style="list-style-type: none"> 11/3波松海岸清掃ボランティア参加者に500ポイント付与
狙い	<ul style="list-style-type: none"> 住民の行動変容促進（ボランティアへの参加促進）、コミュニティ活性化（地域行事への参加促進）
付与方法	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア終了後にユニークなチャージ用QRコードが印刷されたチラシを配布



健康ポイント



概要	<ul style="list-style-type: none"> 健康ウォーキングアプリとふくアプリを連携し、歩いた歩数に応じてはぴコインを付与（1ヶ月最大2,250ポイント）
狙い	<ul style="list-style-type: none"> 住民の行動変容促進（健康への取り組み推進）、コミュニティ活性化（住民同士のコミュニケーション活発化）
付与方法	<ul style="list-style-type: none"> 1ヶ月分の歩数（=付与ポイント数）を健康ウォーキングアプリからふくアプリに県のデータ連携基盤を介して連携し、月初にふくアプリでシステムから自動でポイント付与



若狭町プレミアム付商品券

- | | |
|----|--|
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> 1口4,000円で5,000円分利用可能なプレミアム付商品券を発行 |
| 狙い | <ul style="list-style-type: none"> 若狭町内事業者支援（域内経済循環） 住民への経済的支援 デジタル商品券をフックにデジタルに苦手意識を持っている方たちを巻き込んでいく |

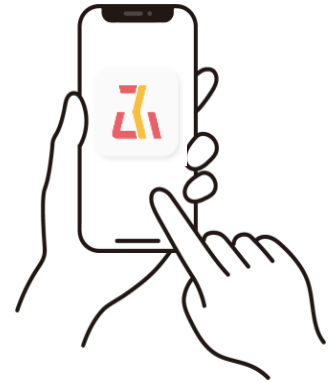


地域のさまざまな方に地域DXを自分事と捉え取り組んでもらうためには
成功を体験し「自分たちでもできるんだ」
というマインドセットになってもらうこと

地域に根差したプレーヤーがよき相談者になり、
よきサポーターになることが重要

ふくいのデジタルが目指す姿

DXを通して地域価値循環サイクルの拡大を目指す



事業収益性の強化

- 持続可能な地域社会の実現
- 持っているアセットを最大活用
- 地域の方たちとのエンゲージメント強化



地域課題の解決

- デジタルの力を活用
- 地域課題を解決する新サービスの創出(投資)